



# シーサイトニュース

Medical Corporation WADOKAI  
Hiroshima Seaside Hospital

2019年  
春号  
vol.84

## 新入職員を迎えて

病院長 多田 恵一

今春は、低温傾向が続いたまま4月に入り桜前線がやっと到来、満開の桜の木の下での入学式などでも、ちょっと寒そうな笑顔のほほえましい記念撮影風景が伝えられています。

広島シーサイド病院にもこの4月、看護師3名、准看護師1名、介護職2名の計6名を新しい仲間としてお迎えすることができました。今回新たに加わってくださった新しい仲間とともに、スタッフ一同が多職種の良好なコミュニケーションを基軸として、一層「心のこもった」サービスを展開してゆく所存です。

さて、平成に代わる新元号「令和」が発表されました。奈良時代に完成した日本に現存する最古の歌集「万葉集」を典拠とする元号であり、その意味するところは「時あたかも新春の好き月、空気は美しく風はやわらかに、梅は美女の鏡の前に装う白粉のごとく白く咲き、蘭は身を飾った香りの如きかおりをただよわせている（中西進著「万葉集」より）」とのこと。「平成」に有難う、希望に満ちた新しい時代「令和」こんにちはです。

ただ、世界は、まだまだ不安定で、2回目の米朝首脳会談は決裂、米中の経済対立がその一因とされる世界経済の鈍化傾向、テロ発生などでまだまだ目が離せない状況が続いています。

さて、「2025年問題」として語られる総人口の減少、高齢化の一層の進行により、急性期医療など以後の、回復期、慢性期から、介護、在宅につなぐ個々の地域に根差した地域包括ネットワークの充実が求められています。当院では、医療療養病床、在宅各サービス部門の一層の充実は無論のこと、医療介護保険法の改定に対応すべく、現在の介護療養病床の介護医療院への転換を本年の大きな目標の一つとしています。ご承知のように、介護医療院は、日常生活の医学的管理や看取り、などの医療機能と生活施設としての機能が求められますので、入所者様やご家族、各医療機関様のご期待にお答えすべく準備万端で臨みたいと考えています。

広島シーサイド病院は過去30有余年、地域における重要な使命をはたすべく邁進してきましたが、「この国を、この社会を」支えてこられた患者様、入所者様への大きな責任を、今後共一致団結し取り組んでゆきます。常日頃からお世話になっています地域の医療機関、自治体、関係各位におかれましては一層のご指導ご鞭撻を何卒よろしくお願ひ申し上げます。

# 2019新入職員

4月1日、入社式が行われました。当院は新たに6名（看護師3名、准看護師1名、介護職2名）の職員を迎えました。新入職員は入社式後、新入職員オリエンテーションとして、当病院の概要から今後の心構え、医療ケアの基本的な知識など5日間受講し、各病棟に配属されました。またオリエンテーション終了後の4月5日には新入職員歓迎会が開かれました。入社式の時は皆緊張した面持ちでしたが、その後に続いたオリエンテーション、そして歓迎会での美味しい食事とお酒に、打ち解けた様子で笑顔が見えました。新入職員のやる気に刺激を受けながら、職員全員で力を合わせて広島シーサイド病院を盛り上げていきたいと思います。



## 新入職員より～

●広島シーサイド病院に入職して1ヶ月が経ちました。働く中で職員全体で患者さまの生活を支え、患者さま、ご家族、職員がお互いに尊重し合っている姿をみて私も先輩方のように患者さまの立場に立ってその人らしさを大切に看護ができるよう日々向き合っていきたいと思います。身体的、精神的にサポートできるように少しでも早く仕事に慣れていくたいと思いますので、ご指導の程よろしくお願ひ致します。[4病棟 半田 紗子]

●4月から入職し1ヶ月経ちますが覚えることや学ぶことが多く、月日が経つのがとても早く感じられます。私はシーサイド病院に入って海や山の景色にとても感動しました。またとても穏やかな環境で療養のできる素晴らしい病院であると感じました。この素晴らしい環境の中で仕事が出来ることを誇りに思い励んでいきたいと思っています。よろしくお願ひします。[3A病棟 楠 拓也]

## 「転倒」のはなし～その1



お年寄りの事故の大部分は家庭内で発生しています。そのトップ2は「転倒」「転落」となっています。この2つで、家庭内事故の半分以上を占めていることが報告されています。つまり半分以上は「転ぶ」という事故なのです。家の中では「階段」が特に危険です。骨折が最も起きやすいのが階段です。

お年寄りも転びたくはないので、自分なりに平素から注意して、暮らしの中でも色々と工夫をされています。生活環境が変化したりすると、若い時のように瞬時に対応できなくなってしまうのです。歳を重ねるにしたがって、視力や筋力、バランス感覚・機能は低下していきます。

バランス感覚・機能低下の状態は、目を開けたまま、片足立ちを15秒以上できるかどうか確認することでチェックできます。このチェックテストは、重心強化のトレーニングにもなります。無理せずに続ければ次第にバランス感覚が良くなります。転ばないための第一歩として、バランス感覚・機能低下を防ぎましょう。



## コラム 「医療・介護の鳥瞰」

リハビリセンター長 松田 誠

## 短時間デイケアに言語聴覚士の配置、トレーニングマシン・物療機器導入

短時間デイケアに言語聴覚士が配置されることになりました。今まで嚥下や言語障害に対してあまり関わりがもつことが出来ませんでしたが、言語聴覚士が配置されることにより、嚥下や言語障害のリハビリも出来るようになります。私たちリハビリ職員にとっても待ち望んだこともあります。その言語聴覚士の訓練として、マンツーマンでの訓練だけではなく、集団でのプログラムも用意出来ればと思っています。その他、理学療法士・作業療法士が姿勢評価・訓練をしながら、どのようなポジショニングで嚥下訓練を行うことが効果的かなど、今まで出来なかった言語聴覚士・理学療法士・作業療法士が同時に利用者さまに関わることにも取り組みたいと考えています。

トレーニングマシン（以下マシン）・物療機器の導入については、手狭な訓練室が更に狭くなりますが、少しでも利用者の要望が叶えられればと思っています。と言っても、他の医療施設や介護施設のマシン・物療機器の方が充実している施設も多いので大きなことは言えませんが、とにかく導入できたことは嬉しい限りです。これからは、利用者の方々が利用しやすい環境を整えて、少しでも利用してもらえるようプログラムを用意したいと思います。ただ、マシン利用に言えることは、利用者の方だけが一人もくもくとマシンを利用するのだけではなく、理学療法士・作業療法士等のスタッフがアドバイスしながら利用るようにしたいと考えます。以前から言われていますが、マシンの導入時は目新しい為、利用者同士が先を争っていたものが、段々と飽きられて、ついにはマシンの利用すらしなくなるということを耳にします。それを避ける為にも利用者の方だけが利用するのではなく、スタッフがアドバイスをしながら、声掛けしながら、楽しみながら、マシンを利用すれば、本来のトレーニング効果が得られるのではないかと思います。

又、物療機器には、いわゆる痛みの軽減の為の温熱療法として3種類、低周波2台、上下肢の浮腫の軽減をする機器の導入が出来ました。これらも、医療機関に配置している機器で、珍しいものではないですが利用者さまの痛みを軽減出来ればと思っています。

後は何と言っても短時間デイケアのスタッフです。とにかく声を出し、笑いながら利用者さま一人一人が目標を持ち、そして日常生活が楽になったと言われるような短時間デイケアを目指していきたいです。

短時間デイケアが少しずつではありますが、利用者さまにとって利用者しやすい環境になってきていて感じています。まだまだスタッフの職種も設備面も他の施設に敵わない面が多いと思いますが、当院のスタッフのチームワークで少しでも利用者さま及び地域の方々のお役にたてればと思います。

# 第30回日本医学会総会2019中部に出席して

名誉院長 土光 文夫



標記学会が2019(平成31)年4月27日~29日、名古屋国際会議場イベントホールで開催され出席しました。明治35年以来、120年の歴史を有する日本医学会総会は、129の分科会を擁する日本医学会が日本医師会、日本医学会連合と協力して4年に一度開催する我が国最大の学会です。講演は29の会場で行われ、名古屋大学名誉教授 斎藤英彦会頭のご挨拶に始まりました。「医学と医療の深化と広がり～健康長寿社会の実現を目指して～」をメインテーマとし、日本では先端医療が次々と日常診療の中に組み込まれ、最新医療機器は更に開発と普及が進んでいくものと思われます。一方で超高齢・人口減少社会へ着実に変化しており、社会保障制度の改良など医療社会環境を早急に整備する必要があります、との講演でした。プログラムは基本構想「4つの柱」で構成され、1.医学と医療の新展開 2.社会とともに生きる医療

3.医療人の教育と生き方 4.グローバル化する日本の医療で夫々の分野で何百と云う数多くの学術講演が発表されました。更に特別プログラムとして前記会頭講演、閉会講演、日本医師会長講演、日本医学会長講演、4名の記念講演、2名の特別講演、2名の閉会講演が行われました。

次に、私が聴講できた講演につき簡単に講演の要旨を執筆します。記念講演として、名古屋大学減災連携研究センター 福和伸夫センター長が「過去と現在を直視し今後の震災に備える」と題され、南海トラフ地震が切迫していることと提言されました。過去100~150年の周期で発生し、常に日本の歴史の転換期となっています。その被害は最悪30万人を超える死者、60万人を超える負傷者、240万棟もの全壊・焼失建物数が予想されています。土木学会からは、地震後の20年で日本の経済損失は1410兆円に達し、世界の最貧困国になるとの指摘がされています。前回の東南海地震から75年目を迎え、今後30年間の地震発生率は70~80%と言われています。新たな元号を直前にして今すべきことについて考えてみる必要があります。次の記念講演として京都大学高等研究院、本庶佑名誉教授が「がんを免疫力で治す」と題され講演されました。PD-1は1992年に京大医学部の石田研究員によって偶然発見された分子であります、その後の1998年までの遺伝子欠失マウスを使った研究で免疫応答にブレーキをかける受容体であることが証明されました。PD-1が発見されてから20年以上の歳月を経て今日、がん治療のペニシリンとも称される新しい画期的な治療法として結実しました。ペニシリンに続いて発見された多くの抗生物質により人類が感染症の脅威から解放されたように、今後はがん免疫療法が改良され、がんによる死を恐れなくとも済むようになるでしょう。

閉会講演として、東海旅客鉄道会社(JR東海)葛西敬之名誉会長が「東海道新幹線から超伝導リニアへ」と題され講演されました。東海道新幹線が創り出した高速旅客鉄道システムを定着させ、山陽、東北、上越新幹線として敷衍したのが国鉄時代23年間の成果であるとすれば、JR東海発足後の32年間は東海道新幹線システムの特性を磨き上げ完成域にまで高めた歴史でした。この磨き上げられた東海道新幹線システムと超伝導リニアによる新たな飛躍への挑戦は国鉄民営化により生まれたJR東海32年の歴史の中で芽吹き結実したものであります。

最後の閉会講演として、京都大学iPS細胞研究所、山中伸弥所長「iPS細胞研究の現状と医療応用に向けた取り組み」と題され、講演されました。ヒトiPS細胞の発見から10年が経ち、世界中の多くの研究者により研究が進められ、臨床に向けた技術開発も加速的に進化しています。患者さんに1日も早く革新的治療オプションを提供し、国民の健康寿命を延ばすために、iPS細胞研究をさらに発展させたいと発表されました。上記の本庶佑、山中伸弥の両先生はノーベル賞受賞の方であり、且つこの講演のみに名古屋市民一般の聴講が許され、入場者は超満員で会場の通路にも立ち見にもいっぱいでした。又、展示場では数多くのポスターが展示されていましたが、当院に係る老人医療に関するもの一枚を図のように写していました。

以上、約3万人の医療従事者が集まった日本医学総会に参加することができたことを感謝して擲筆します。(平成31年4月30日記)



## ボランティア紹介

鬼之成神楽団、あおい子ども神楽団の神楽公演が3月27日に行われました。

◎演目…禍津九尾(まがつきゅうび)・遮那王(しゃなおう)／きらびやかな衣装と舞、太鼓・笛などの迫力ある演奏、かわいい子供たちの舞などで観客の人は熱心にご覧になられ、大変感激されていました。



## ★鬼之成神楽団 (きのじょうかぐらだん)

演目：禍津九尾(まがつきゅうび)、宇治川、恵比寿舞、瀬田の唐橋等

発足：1996年に鬼文化伝承保存会として発足。2014年に鬼之成神楽団と改名する。

## ★あおい子供神楽団

演目：神降ろし、剣舞、十羅殺女(じゅうらせつによ)

発足：2012年に鬼之成神楽団からの指導を受け発足。中学生以下8名で現在頑張っております。

## の若返り 漢字をたくさん考えよう!

以下の漢字を使う漢字を思いつく限り書き出してください。目標は5つ以上です。

例題)

木 → 森 床 査 本 果

問題1

口 →

問題2

十 →

問題3

目 →

\*答えは裏表紙(頁下部)⇒

# ♥信頼される医療・福祉をめざして…

## ■基本理念

◎常に患者様とご家族の立場に立って行動し、医療・保健・福祉の分野で連携充実を図り、地域のニーズに応えるよう、職員一同頑張ります。

## 外来案内のご案内 休診日／土・日曜日、祝祭日、盆、年末年始

### ●内科・リハビリテーション科・放射線科

診療時間	月	火	水	木	金
9:00～11:30	荒巻	上杉	池田 沖田	山本	中村 上松瀬
13:00～16:00					

### ●脳神経内科

診療時間	月	火	水	木	金
9:00～11:30	湯川	湯川		湯川	

医療法人 和同会

## 広島シーサイド病院

診療科目／内科・脳神経内科・リハビリテーション科・放射線科

療養病床330床（医療208床・介護122床）

〒734-0012 広島市南区元宇品町26-20

TEL (082) 255-1010 FAX (082) 255-6826

<http://www.ss.wadoukai.jp>

- 通所リハビリテーション（定員45名） TEL (082) 252-2781
- 訪問看護ステーション ハローナースシーサイド TEL (082) 255-1424
- ショートステイ元宇品（定員29名） TEL (082) 255-1221
- 元宇品居宅介護支援事業所 TEL (082) 255-1422
- グループホーム元宇品（定員18名） TEL (082) 255-1239
- デイサービス元宇品（定員30名） TEL (082) 255-1271

## ■基本方針

◎信頼され、安全性の高い医療サービスを目指すため、職員の研鑽と協調に努めます。

◎患者様、ご家族、職員がお互いに尊重し合い、ともに喜び、生きがいがもてるようチーム医療を推進します。

◎地域に根ざした、住民とともに歩む病院を目指します。

◎病院の質を高め、健全経営に努めます。

◎職業を通して、社会人としての豊富な人間性を養います。

## ●ごあんない



- バス／広島バス21号線（宇品線）シーサイド病院入口バス停より徒歩5分
- 電車／広島電鉄宇品線元宇品電停より徒歩10分
- タクシー／広島駅より元宇品方面へ約30分

【脳の若返り】解答例 問題1…名、回、団、言、叶、操など 問題2…協、早、古、辻、南、卒など 問題3…相、直、眠、眺、想、看など

## 【編集後記】

平成の時代が終わり新しく令和が始まりました。といっても日常生活において大きく変わったことはありません。今一番大変なことは、保存していた文書などがすべて平成なのでそれを令和に直すのですが、中にはずっとコピーして使ってきました書類などは原本のデータが見当たらず、一から作成し直すことでしょうか。今はまだ令和と書くには慣れませんが直に慣れてくるのでしょうか。

さて、今号の表紙がどこの風景の写真か分かりますか？この写真は宇品灯台とその前にあるクスノキです。元宇品の南端にある駐車場から山道を下って行く途中に見えるのが真っ白な「宇品灯台」と「クスノキの大木」。

宇品灯台は、1950年（昭和25年）に新設され、1971年（昭和46年）に回転機械などが取り付けられ現在の形になったそうです。光源のレンズは1895年のフランス製で今なお現役で「海の道しるべ」としてその役目を果たしています。また、クスノキは、樹齢約300年といわれる大木で、高さは27メートル、幹の太さは5.9メートルもあります。写真には納まりきらないことでも分かるかと思いますが、目の前にするとその迫力と雄大さには圧倒されることがあります。

これから、このシーサイドニュースで広島シーサイド病院とともに元宇品の魅力も紹介していくたらと思っています。ぜひ楽しみにしていてください。  
(編集N)